

## 関東同窓会映画上映会に参加

上原 昇（2組）

7月8日（土）15時前、JR新橋駅のSL広場に関東同窓会会員と関係者が17名集合した。当日は同会会員交流委員会主催の映画上映会が予定され、筆者も誘われ参加した。イタリア映画の名作『ひまわり』を観ようという企画である。半世紀以上前の1970年に公開された同作は「ひまわりの咲く頃、平和の願いを込めて」日本各地で何度もリバイバル上映されている。今年も7月28日からデジタル・リマスター版がロードショー公開される。ロシアのウクライナ侵攻が続いている折柄、何ともタイムリーな企画である。会場の銀座TCCシアターは新橋駅から徒歩で5分、開業65年目を迎えるという46席の老舗ミニシアターである。かつては試写会で淀川長治さんもよく通っていた場所である。司会進行は今回イベントのプロデューサー古畑克巳さん（69期）、冒頭同じく69期の映画評論家でもある荒木久文さんから本作の見どころなどについて話を聞く。名作というものは時代を超えて、何度観ても感動するものである。ウクライナでロケ撮影したといわれる延々と続くひまわり畑のシーンは特に心に残る。同作で女性主人公を演ずるS.ローレンは89歳で存命というから、当時36歳くらいか。芸歴の長いローレンにとっても、最高の一作といえよう。相手役の名優、M.マストロヤニは1996年に72歳で亡くなっている。監督のV.デ・シーカとローレン、マストロヤニが組んだ作品は同作の他に「昨日・今日・明日」、「ああ結婚」などがあり、いずれも傑作である。



写真1：ミニシアターで上映会（写真1、3提供は荻原貴さん（79期、副会長））



写真 2 : 映画『ひまわり』のポスター

上映会のあとは、これも近くの有名中華料理店「新橋亭」に場所を移して懇親会となる。会員の奥様など 4 名の女性参加者も含め、全員のスピーチがあり真夏の一夜が楽しく盛り上がった。この 6 月の関東同窓会総会で副会長兼会員交流委員会委員長に就任した掛川治男さん（73 期）からは、今年度も新しいイベントを企画していきたいと挨拶があった。今回は参加者の平均年齢が高めだったこともあり、次回以降は若手会員も気軽に参加できる工夫が必要かもしれない。



写真 3: 懇親会での集合写真（中列中央が筆者）

（2023 年 7 月 9 日記）

以上